

chyma. Peach Kernel→cot: cotyledon, sd: seed coat with vessel (v), st<sub>3</sub>: stone cell. Peony Root→vp: pitted vessel. Moutan Bark or Peony Root→ca: clustered crystal.

Plate V. Microphotographs of methyl-green-stained sections of Keishibukuryo-gan. Elements from Cinnamon Bark→kl: cork layer, st<sub>1</sub>, st<sub>2</sub>: stone cells. Hoelen→myc: mycelium. Moutan Bark→co: collenchyma with starch grains, stc: compound starch grains contained in parenchyma. Peach Kernel→st<sub>3</sub>: stone cell. Peony Root→vr: reticulate vessel, vc: scalariform vessel.

□Inoue, H. (ed.): **Studies on cryptogams in southern Chile** (南米チリの隠花植物) 176 pp. 1984. Kenseisha (研成社), Tokyo. ¥6,000. 国立科学博物館で実施した「南米における隠花植物の種分化と分布に関する研究」の第一次調査の報告書として出版された。南緯42度附近の Puerto Montt 周辺から Tierra del Fuego へかけての広い範囲にわたって隠花植物を調査し、そのなかから Grimmiaceae, *Plagiochila*, *Cladia*, *Cladina*, *Cladonia*, 大型糞生菌, 糞生子囊菌, *Euantennaria* の分類及び苔類の油体, 染色体や化学成分など多様な内容を含む報告となっている。新種の記載や学名に関する考証も多く、これらのグループに関心のある人には見逃せないものとなっている。従来、顕花植物ではアジアと南米に共通ないくつかの近縁な属や種が認められているが、隠花植物での比較研究は充分ではない。今回の研究成果を基礎として、さらに今後の発展が期待される。論文はすべて英文で書かれているが、英文、和文とともにスペイン語による要約があり、現地研究者への配慮がうかがわれる。オフセットによる印刷のためか、写真が鮮明を欠く点が惜しまれる。 (黒川 道)

□Vogelenzang, L. (ed.): **Guide to the prices of antiquarian and secondhand botanical books (1979-1982)** 760pp. 1983. Boerhaave Press, Leiden. ライデン国立ハーバリウムの図書館員 Vogelenzang が、1979-1982年の間に販布された世界(欧米)の74の古書店のカタログから、植物学関係(顕花植物)の古書およそ8,000点を選んでリストしたもの。著者名順に並べた本の題名、出版年、ページ数、図版数、出版社名、価格を記しているが、それがどこの古書店で売り出されたかは記されていない。本書によると植物学関係の古書の値段の見当がつく。値段はドイツ・マルクとアメリカ・ドルで示されている。 (木村陽二郎)